

# 香美町ならではの 教育の挑戦

●問い合わせ先 町教育委員会教育総務課

## 「食べる」ことの大切さ

近年、栄養の偏りや不規則な食事などによる肥満、過度のダイエットによる低栄養など「食」に関する健康面での問題が話題にされています。

こうしたなか「食べる」ことに関する知識を身に付け、その大切さに気づき、健康的な食生活を送ることは、生涯にわたって生き生きと暮らすことにつながります。つまり「食べる力」を育むことは「生きる力」を育むことにつながっています。

## ふるさと給食への思い

幼児期に身につけた食の嗜好や味覚は、成長してから簡単には変わるものではありません。そのため、子どもの頃の食育は、子どもたちの「今」だけでなく「未来」を形づくっていきます。

町教育委員会では、地産地消を基本とした「ふるさと給食」を生きた教材として活用し、次代を担う子どもたちに、ふるさとを大切に作る心や生産者へ感謝する気持ちを育み、ふるさとの産業や自然、食文化への理解を抱かせる食育の充実に努めています。

## 日本一のふるさと給食を目指して

「日本一のふるさと給食」を推進する本町では、平成24年5月にふるさと給食推進委員会を設置し、給食における地元産食材の利用促進および安定供給体制の構築について、毎年協議を進めています。

この協議の中で明らかになった課題を解決するために、平成25年10月から町内の給食センターと生産者の橋渡し役となる「ふるさと給食推進員」を配置しています。作付けの調整や、給食センターへの食材の搬入が困難な高齢の生産者に代わり運搬搬送を担うなど、その働きにより町内全域での地元産食材の安定供給が可能になりました。



▲本年度のふるさと給食推進委員会の様子

こうした取り組みにより、本町の給食における町内産野菜の使用率は、平成24年度では約17%だったものが、令和3年度末には約32.7%にまで上昇しています。

今後も、学校園、給食センター、生産者、加工業者、推進委員会などと連携を図りながら、地元産食材をたっぷり使用した安心・安全で真心のこもった給食を提供できるよう取り組んでいきます。

## ふるさと給食試食会・取組展を通して

ふるさと給食の取り組みをみなさんに知っていただき、実際に味わっていただこうと、昨年11月13日に「ふるさと給食試食会・取組展」を香住文化会館と香住区中央公民館で行いました。当日は82人が参加され、地元産野菜をたっぷり使った但馬牛すき焼きなど、実際の給食メニューを試食しました。

試食後のアンケートでは、給食を懐かしむ声や子どもたちが愛情いっぱいの給食を食べていることへの感謝の声をいただきました。



▲本年度の試食会の様子